

ベルギーの物語とクラシックギターのタベ



「フランダースの犬」 (ウィーダの原作より)

アントワープへ向う道の片隅に一匹の犬が倒れていた。死にかけていたが、誰一人としてこの犬に目をとめるものはなかった。名もなく、もう死んでいると言ってもよい犬がやがて一人の老人の愛により生還し、人生を取り戻してゆく。

「生きる」とはなんと深いことなのかが静かに確かに、語られてゆく物語です。

一部 小関佳宏 ギターコンサート

クラシックギターの生の音色を活かして活動を展開。作・編曲も行い、朗読との共演も定評がある。仙台市出身の若手ギタリスト。

今回はギターソロでオリジナルの世界をお楽しみいただきます。

二部 大竹麗子 語り「フランダースの犬」

おはなしかご主宰 魔法使いの学校を開校して多くの語り手を育て、自らもプロの語り手として活躍しております。

・日 時：2009年11月13日（金）

開場 午後6時 開演 午後6時30分

・場 所：仙台市青年文化センター 交流ホール

・参加費 2,000円（学生は無料ですが、お申し込みは必要です）

☆「フランダースの犬」はウィーダの原作より語ります。アニメーションの雰囲気とは違いますので、ご参加は高校生以上の方とさせていただきます。

<お申し込み・問合せ先> 語り手たちの会・みやぎ 竹丸富子

〒981-0942 仙台市青葉区貝ヶ森 2-3-8 TEL・FAX 022-275-4252

◇主催 おはなしかご

〒135-0001 東京都江東区毛利 1-17-5

(TEL) 03-3631-7259 (FAX) 03-3631-7263

(Email) kotoba@ohanashikago.com

(HP) <http://www.ohanashikago.com>

涼しい風が吹きはじめました。お元気でお過ごしのことと思います。

秋の花小唄に誘われて、ギターのをききにいらっしやいませんか。
心とふたりで、物語の小径をあるいてみませんか。
秋の林でほんのひとときの静けさをおとどけいたします。

おはなしかご



「秋の花小唄」

ひとつ・・・彼岸花咲きました
ふたつ・・・ふたつは藤袴
みつつ・・・水辺の水引草
よつつ・・・嫁菜の花も咲き
いつつ・・・銀杏に風が吹く
むつつ・・・向こうの野原には
ななつ・・・なでしこ、ななかまど
やつつ・・・山のふもとには
ここのつ・・・今夜も女郎花
とおで・・・峠に秋が来た
山の峠に秋が来た

「冬の花小唄」

ひとつ・・・冬
ふたつ・・・ふたつは冬珊瑚
みつつ・・・緑のもみの木に
よつつ・・・夜は星の花
いつつ・・・いつしか雪が降る
むつつ・・・向こうの雪の森
ななつ・・・南天まつかな実
やつつ・・・山の麓には
ここのつ・・・今夜も藪椿
とおで・・・峠に冬が来た
山の峠に冬が来た